

1 イスラム教

- 1) ムハマンド 最後の預言者 ヒジュラ暦(622) クルアーン(神の啓示)
 - 2) 一神教 ユダヤ教、キリスト教、イスラム教(啓典の民) 個人*神
 - 3) 5行6信
 - ①信仰告白 共同体(ウンマ)の認識 共通語の存在
 - ②祈禱、 個人の認識 平等 共同体 清潔・健康
 - ③喜捨(ザカート) 相互扶助 社会保障 共同体の維持
 - ④断食(ラマダン) 生活リズム 自然の確認 健康保持
 - ⑤巡礼(ハッジ)…宗教生活の完成、指導者世界への目を開く大旅行
 - 4) サラセン帝国 正統カリフの時代 ⁶¹⁰メッカ ⁶²²メジナ ⁶³⁰エルサレム
 - ① アッバース朝 ダマスカス 古代商業都市の利用
 - ② ウマイヤ朝 バクダッド 円い都市
- なぜ短期間に大帝国を築いたか 信仰 柔軟性 抱擁力 ⁽⁷¹¹⁾ギリシャ遺産の継承

2 イスラムの都市性

- 1) 砂漠の宗教? 一神教(なぜ多神教から脱皮したか) 内面性の重視
- 2) 乾燥・灼熱・移動 生活慣習 健康と衛生 断食、飲酒、礼拝、清浄
- 3) 都市の宗教 共同体(ウンマ) 協働のルール 貧者救済・相互扶助

3 都市の条件 イスラム=宗教+生活スタイル、都市の宗教としてイスラム

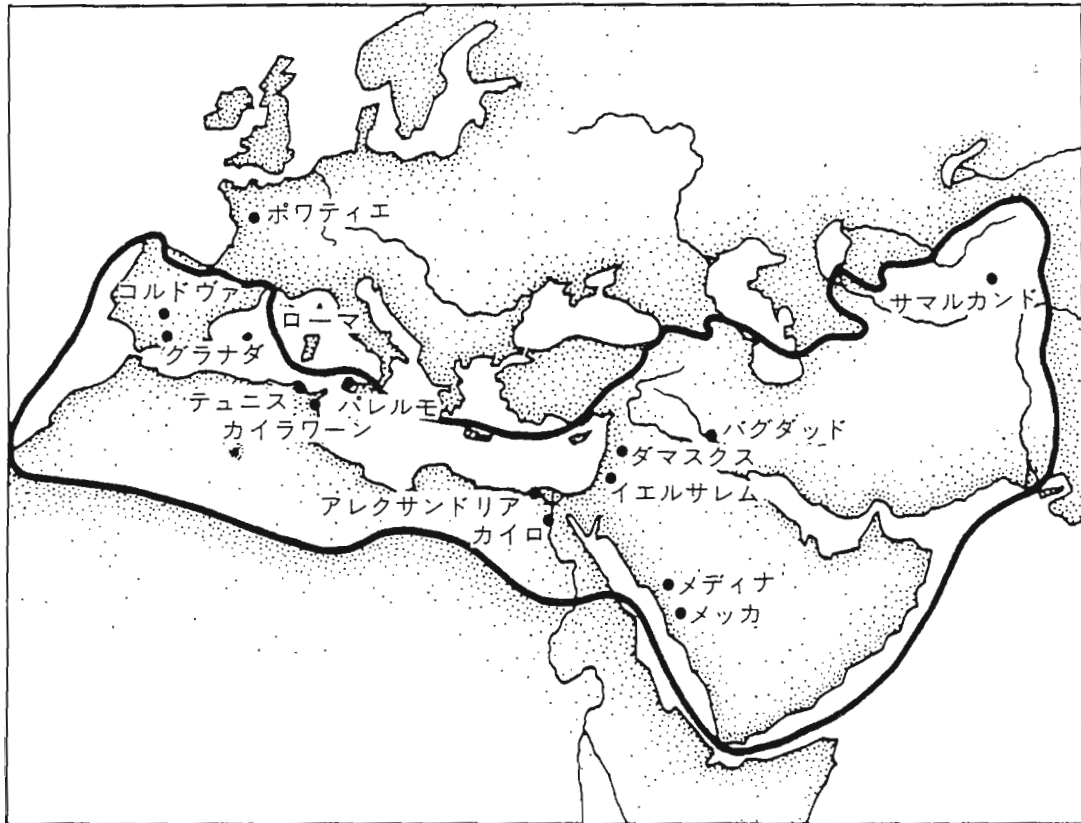
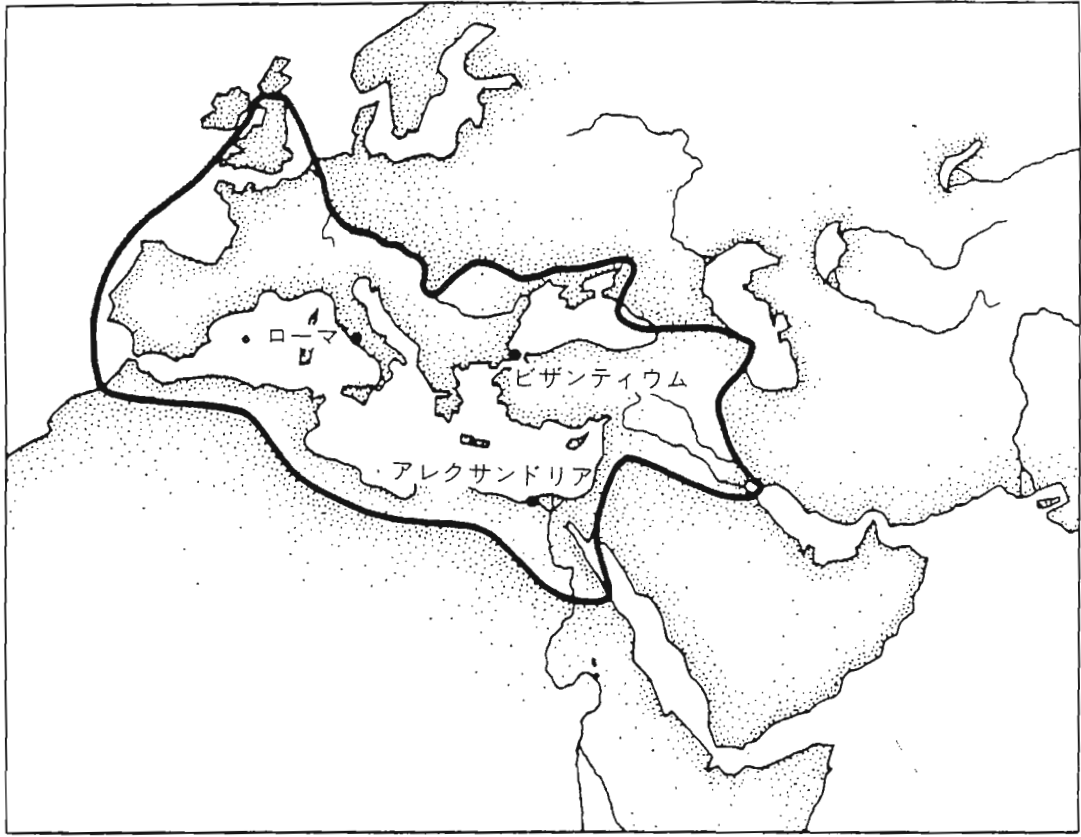
- 1) 城壁 城砦(外敵と砂漠) 城門
- 2) モスク
 - ①共同体の場 礼拝(個人と神、共同性の確認) 休息 瞑想 集い
 - ②ミナレット、 シンボル性 音声伝達(アザーン)、 共同意識
 - ③洗い場、 健康管理 埃と清浄(目、耳、手足)
- 3) パザール 交易 交際 会話 賑わい 楽しみ
- 4) キャラバンサライ 旅行施設 砂漠の中の港 キャラバンの編成
- 5) オアシス カナート(水供給の確保)
- 6) 中庭と噴水 都市の中のオアシスの思想 噴水と霧と緑 人工環境
- 7) 狭い道と立体人路 閉鎖された空間、道に開く店、路上通路、婦人用屋上通路
- 8) マドラサ アラビア文字の普遍性 新しい学問

4 アラビア商人 移動の達人、交渉術

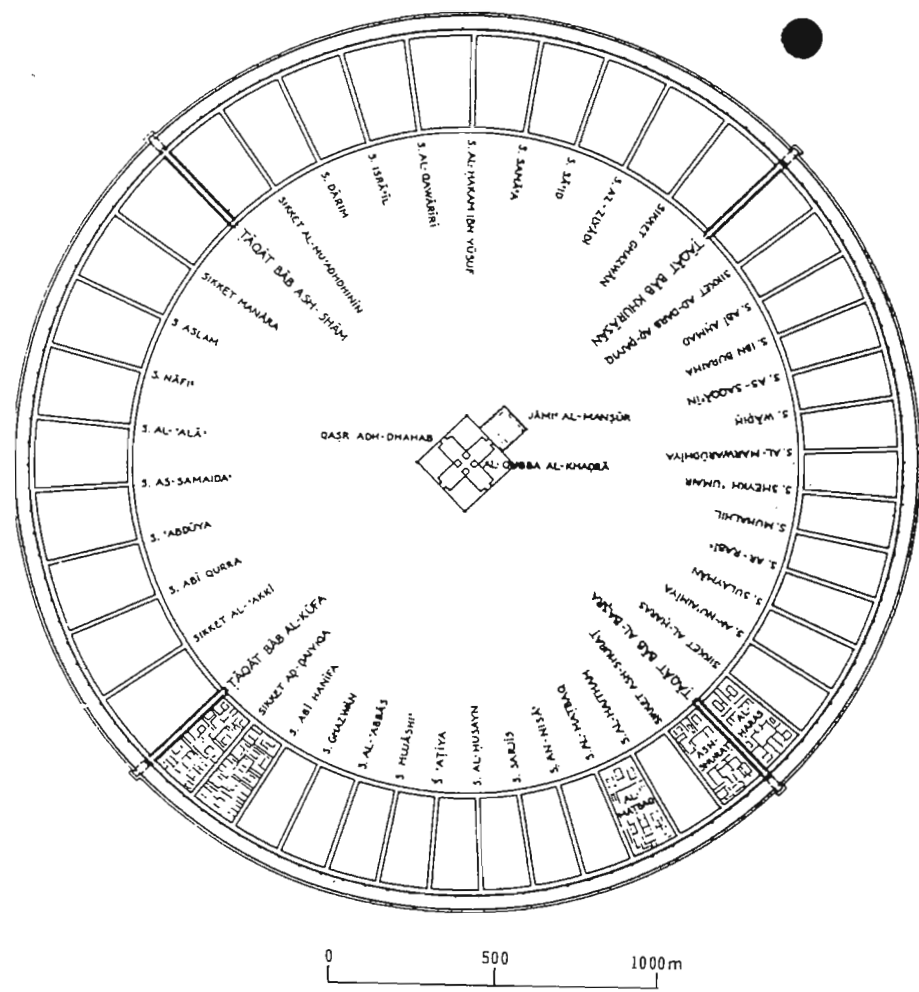
- 1) 陸上交通 砂漠を超える技術(ラクダ)
- 2) 海上交通 船乗りシンドバッド ダウ船 インド洋、アフリカ東岸
- 3) イブン・バットウダ 世界旅行 世界の把握

5 都市思想———イスラムの都市性

- 1) イブン・ハルドウン「歴史序説」 社会的結合、相互扶助 抑制力⇒王権(宗教法)
- 2) 千夜一夜物語 都市生活の多様性 商人、船乗り、泥棒、貧乏人、魔法



ローマ帝国とイスラム帝国(下)



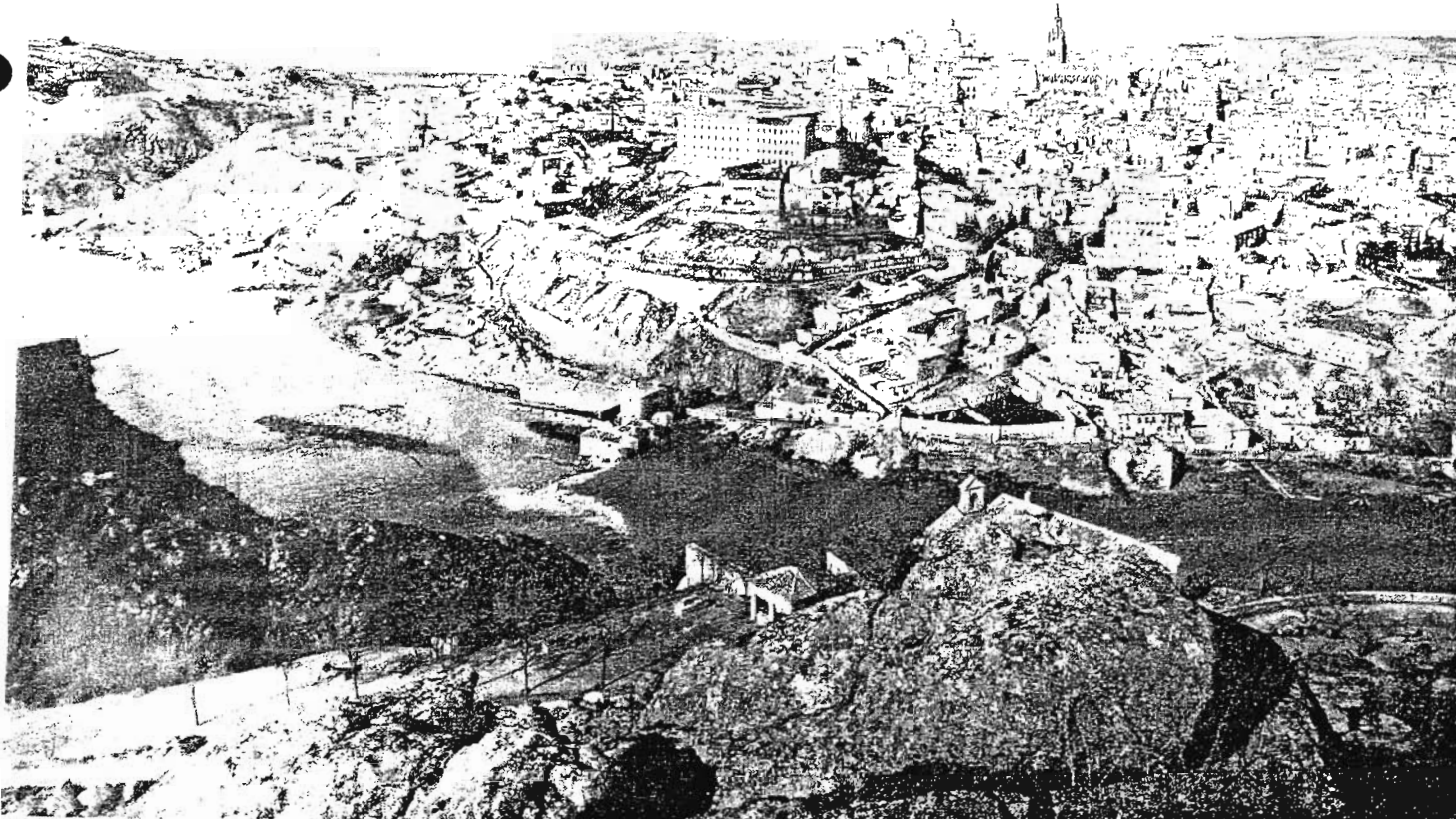
バグダ
 円形都市の平面図。762年にカリフのア
 スルによって設計され、建設が始め
 左下はバグダッドの大モスクの平面



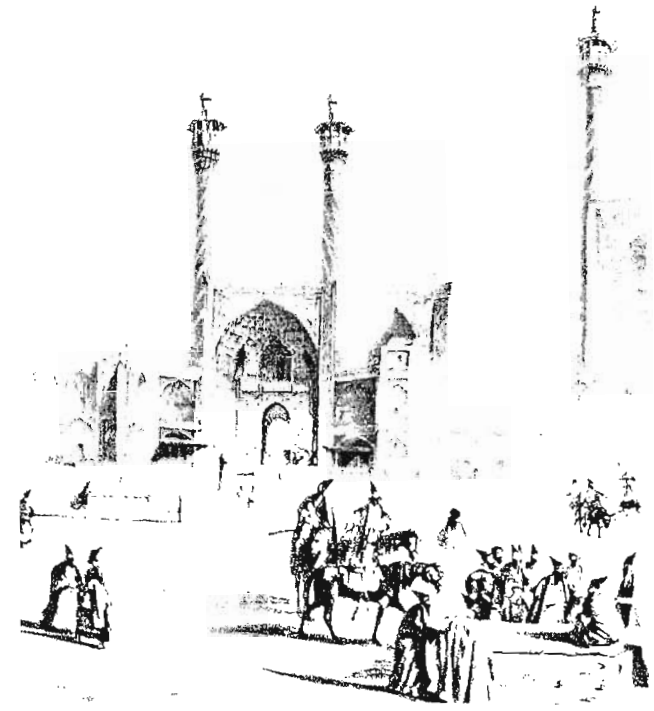
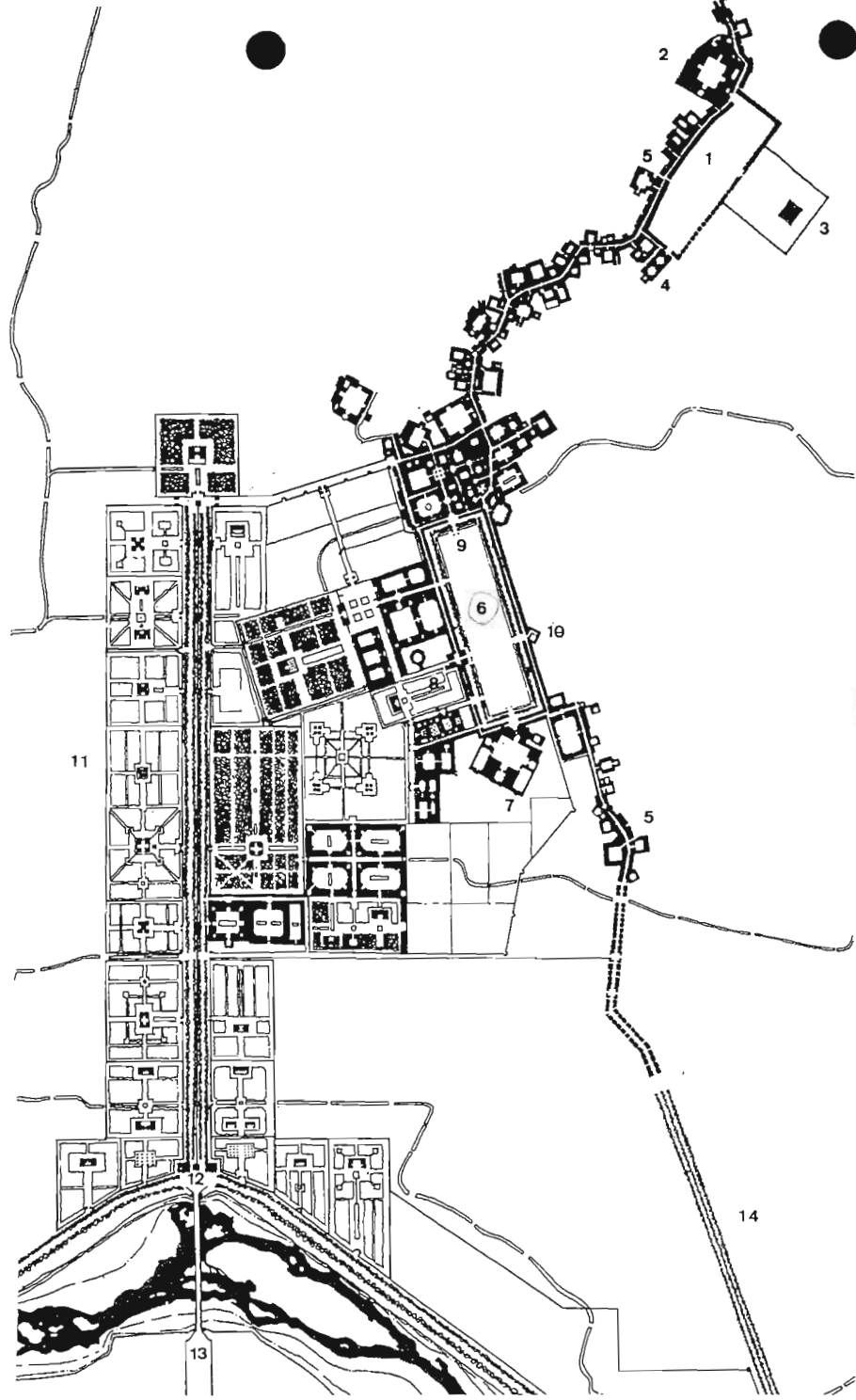
スペインにおけるア
 ラブの首都であったコルドバの中心地区
 と全体配置図。市外にカリフ、アブ
 ラーマンの住まいのマディナット・

040918

建設されたトレドの街の平面図と眺望。モスクの位置は現在カテドラルになっている。



ESPAÑAN
de Argemont de Argemont



イスラーム (イスラーム)

- 1 メイダナーネ・カヂーム
- 2 金曜日のモスク
- 3 宮殿
- 4 アリーのモスク
- 5 バザール
- 6 王の広場 (メイダナーネ・ジャー)
- 7 王のモスク、マスジデ・ジャー
- 8 王宮
- 9 バザールの門、ダールクーザ・イ・カイサリア
- 10 シェイフ・ロトフォラーのモスク
- 11 ヴィジールの庭園
- 12 大通り

04018